

教委だより

No.441



令和7年4月30日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長



写真：上 辞令を受け取る京角教諭 左下 辞令を受け取る横谷教諭 右下 宣誓を行う杠教諭

新規採用教職員364名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が4月1日（火）に富山県教育文化会館で行われ、364名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の京角怜奈教諭（富山市立堀川小学校）と横谷悠斗教諭（入善高等学校）が辞令を受け取った後、杠野々香教諭（富山総合支援学校）が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

廣島教育長は、「子ども一人ひとりの主体的な学びに伴走し、気づきを最大限に引き出しながら、子どもたちが学ぶのが楽しいと思える教室や学校を作り上げてほしい」と訓辞しました。

●令和7年度 採用状況は次のとおりです。

◆教員（養護教諭2名、栄養教諭2名を含む）	355名
小学校	185名
中学校	64名
義務教育学校	2名
高等学校	51名
特別支援学校	53名
◆実習助手	6名
◆寄宿舎指導員	3名
◇合計	364名

教育長のあいさつ

教育を通じたウェルビーイングの向上を目指して

富山県教育委員会教育長 廣島 伸一



第3期富山県教育振興基本計画(令和4年策定)では、教育で目指す姿の一つとして、「すべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる『真の幸せ(ウェルビーイング)』の向上」を掲げています。子どもたちの「ウェルビーイングの向上」に向け、今年度、県教育委員会が取り組む施策等について、いくつかご紹介いたします。

社会の急激な変化により予測困難な時代が到来する中で、学校教育においては「他者と協働して課題を解決していく力」や「様々な情報を見極め、新たな価値につなげていく力」の育成が求められています。そのような力の育成を目指した「探究的な学び」を充実させるため、「令和のとやま型教育推進事業」や「次世代創出PBL推進事業」を展開していきます。

また、増加傾向にある不登校児童生徒への対応としては、「校内教育支援センター」を新たに設置する市町村への補助やフリースクール等の民間施設を利用する子どもがいる家庭への支援を行い、多様な子どもたちの学ぶ場所や居場所の確保に努めていきます。

これからの県立高校のあり方については、社会の変化や教育ニーズの多様化などの状況を踏まえ、議論する必要があります。これまで多くの意見をお聞きして、本年3月に取りまとめた「新時代とやまハイスクール構想」の実現を目指し、引き続き、丁寧に検討しながら、「学びたい、学んでよかったと思える県立高校づくり」を推進していきます。

そのほか、キャリア教育の充実やICT教育の推進、学校における働き方改革の推進にも努めていきます。具体的な事業内容等については、県ホームページ「富山県教育委員会重点施策」をご覧ください。

これらの取り組みを通じて、全ての子どもが生活や教育等のあらゆる面でウェルビーイングを高め、健康で幸福な生活を送る中での成長を社会全体で後押しする「こどもまんなか社会」の実現を目指していきたいと考えています。

〔令和7年度富山県教育委員会重点施策〕

<https://www.pref.toyama.jp/3000/kurashi/kyouiku/kosodate/kj00001017/index.html>

各課の取り組み

教育企画課

教育企画課では、教育委員会会議、教育の広報、教育委員会表彰、学校施設・設備の管理、ICT環境の整備、とやま科学オリンピックに関する業務等を行っています。ICT環境の整備では、児童生徒用の1人1台端末の整備、学校のネットワーク環境の再整備等に努めていきます。とやま科学オリンピックは、今年度より中学校部門、高校部門それぞれで大会の運営等を見直しました。生徒のみなさんが参加しやすい大会になるよう努めてまいります。

生涯学習・文化財課

生涯学習・文化財課では、生涯学習振興事業の企画・調整、青少年教育、家庭・成人教育、そして文化財の保存と活用に関する業務を行っています。

今年度で20年目となる「親学び講座」については、多様化する現代の子育てに対応した新しいプログラムの作成や、より多くの保護者の方に参加してもらえるような取り組みを進めてまいります。また、市町村や文化財所有者等と連携しながら、能登半島地震で被災した国宝瑞龍寺や国宝勝興寺をはじめとする国指定等文化財の復旧事業に対して引き続き支援してまいります。

教職員課

教職員課では、教職員の採用、人事異動、服務及び教員免許等に関する業務を行っています。

今年度の新たな取組みとして、小学校の新規採用教員の持ち授業数を軽減し、働きやすい職場環境を提供するためサポート教員を配置することとしています。

今後とも教員が働きやすい環境を整え、子どもと向き合う時間を確保するとともに、円滑な学校運営ができるよう、教員の多忙化解消・働き方改革の取組みを進めます。

また、本県の将来を担う職業人材の育成に向け、県立学校の職業科に民間企業等の外部人材の配置を試行的に導入するなど意欲ある優秀な教員の確保に取り組めます。

保健体育課

保健体育課では、学校保健・体育施策の推進、食育・学校給食、児童生徒の保健・安全、児童生徒の体力向上、教職員の福利厚生、公立学校共済組合に関する業務を行っています。

食育・学校給食では、栄養教諭を中核とした学校における食に関する指導の充実に努めます。児童生徒の体力については、Webアプリ「とやま元気っこチャレンジ」を活用し、運動習慣を含めた健康的な生活習慣の定着を図ります。

また、関係機関と連携して、ストレスチェックの実施等、教職員のメンタルヘルス対策に取り組めます。

教育みらい室の取組み

小中学校課

小中学校課では、児童・生徒の「問題発見・解決能力」の育成を目指す「とやま型学力向上プログラムⅢ期」を基にした授業改善を推進するとともに、教員の資質向上、授業力向上に関する研修を実施します。また、外国人児童生徒教育スーパーバイザーを新たに配置し、定期的に市町村教育委員会を巡回し、学校の課題や悩み等を共有することで、解決へとつないでいきたいと考えています。

富山県幼児教育センターでは、幼児教育施設への訪問研修や幼児教育と小学校教育の接続に向けた取組みを充実してまいります。

県立高校課

県立高校課では、奨学資金、授業料、高校卒業程度認定試験、県立高校の教育課程、県立高校入学者選抜、産業教育などに関する業務を行っています。例年2月には「とやま探究フォーラム」(主催：富山大学・富山県教育委員会)を開催しており、STEAM教育の推進や地域等との連携による課題解決などをテーマに、各学校で進めてきた探究的な活動の成果を発表しています。また、生徒交流会等を通じて学校どうしのつながりを深めることで、探究的活動の一層の充実を図っています。

特別支援教育課

特別支援教育課では、「富山県特別支援教育将来構想」の4年目を迎え、障害のある子どもが小学校就学前から高等学校卒業後まで切れ目なく各段階に応じた支援を受けられるよう、関係機関との連携を強化しながら、インクルーシブ教育の理解促進、早期からの相談体制の整備、学校への相談支援の充実、就労支援の充実、教員の専門性の向上に向けた取組み等により特別支援教育の充実を図ります。今年度は「特別支援就労応援プロジェクト」として事業を拡充し、県内の特別支援学校の就労支援の充実、強化を図ります。



将来構想は
こちらから

県立高校改革推進課

県立高校改革推進課では、昨年度末に取りまとめた「新時代とやまハイスクール構想」基本方針の推進などの県立高校の教育改革に関する業務や学級編制に関する業務等を行っています。

今年度は、基本方針に沿って具体的な検討を進めるため、新たに検討会議を設置し、「①大規模校の設置方針(学科構成、設置場所など)」、「②第1期～3期の各期に開設する新時代とやまハイスクールの方向性」、「③第1期校の開設方針と各校の教育内容等」、「④第1期校の開設に必要な再編統合」について議論していきます。



新時代とやまHS
構想はこちらから

児童生徒支援担当

児童生徒支援担当では、主に公立小・中・高等学校のいじめ・不登校対策等、生徒指導に関する業務を行っています。具体的には各学校へのスクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの派遣、24時間いじめ相談電話の設置等、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。さらに、今年度も引き続きフリースクール等を利用する家庭への支援も行います。また、規範意識と社会性を高めるため、中学2年生が職場体験活動等に参加する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」への支援も行います。

夜間中学設置準備担当

夜間中学設置準備担当(新設)では、県内初となる夜間中学の開校を目指し、教育委員会事務局内外の方々と一緒に検討を進めています。今年度は、より多くの方に「夜間中学」を知っていただき、「今からでも中学校を卒業したい」、「もう一度学び直したい」と願っている方に一人でも多く情報が届くよう、広報活動に力を入れてまいります。6月、11月に夜間中学説明会・個別相談会を開催しますので、どなたでもご参加ください。また、入学を希望される方へのアンケート調査も実施します。

